

[004]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2231566>

出版情報 : 九州人類学会報. 4, 1976-12-10. Kyushu Anthropological Association
バージョン :
権利関係 :

序

6月19日に本研究会の第5回総会を了え、会報第4号をお手元にお送りすることになった。昨年4月から今年3月までの10回にわたる研究会の発表をみると、民族学、社会人類学、宗教学、法民族学、社会学、歴史学などの諸分野にわたっているが、形質人類学と考古学関係の発表がみられないのは淋しい。今年の研究会は、総会での決定に即して研究会の回数は多少減らすが、考古学や形質人類学をも含めて、各回ごとの発表者の数を増やし、研究会の内容の密度を一層高めたいと考えている。会員諸氏の積極的な参加と御協力を期待したい。

今春われわれは極めて多忙な数ヶ月を過した。日本民族学会の第15回研究大会を九大が当番校として引き受け、5月15、16の両日太宰府天満宮文華殿を会場として大会が開かれたからである。300人近い参加者を得て、会を成功裡におわらせることができたのは、ひとえに、当九州人類学研究会の会員の方々の献身的努力の賜であり、学会の責任者の1人としてこの紙面をお借りして厚く御礼申しあげたいと思う。

九州人類学研究会会長

綾 部 恒 雄